

# 予算に関連しての 各議員の質問から

平成24年度の予算審議が3月15日、16日の2日間おこなわれました。多くの議員がそれぞれの立場で予算の詳細について質問をおこないました。その中から質問と答弁をまとめました。

## ▽広報広聴について

町の広報紙の発行部数は、町長への手紙が入っていないが止めたのか。町民から寄せられた数は。

久保企画課広報広聴係長 1

カ月当たりの発行部数は6300部です。「町長への手紙」は年2回、5月と10月の広報紙と一緒に配布しており、現時点の返却数は117件ありました。

## ▽滞納整理機構運営に係る負担金について

先頃、全道で1番の収納率と報道されていたが、収納率と回収金額はどのようになっているのか。

松井税務課収納係長 平成22年度は60件、5200万円あまりを引き継ぎ、道町民税等5税で2900万円あまりの収納があり、率は55・9%で、完納は20件です。



路線バスの運行状況は

## ▽路線バスについて

向別線、杵臼線の路線バス運行委託と運行についての状況は

平成23年度は、1月末で4500万円あまりを引き継ぎ、道町民税等5税で1890万円、収納率は41・2%です。

## ▽特定健診について

特定健診の受診者を上げるとりくみについてはどのようにおこなっているのか。

吉野保健福祉課長 広く周知をおこなっております。広報紙や町のホームページでお知らせして対象の町民の方々には、郵便での案内や個別に電話もしております

▽続・浦河百話について  
続・浦河百話が完成した後は売出すのか。

浅野企画課長 販売することを予定しております。価格は2500円前後になるものと思われ

▽ご当地特産品開発事業について

開発はどのような事業内容でおこなっていくのか。

大宮水産商工観光課商工労政係長 これまでも特産品の開発に対して1件につき100万円を補助してきましたが、事業内容がわかりにくかったため、事業名を変更しました。開発研究のみではなく、アフターフォローも考えて、2カ年の補助をおこなうことで要綱を検討していきます。

▽教職員研修委託料について  
教職員研修委託料の内容はどのようなものか。

旭教育委員会管理課学校教育係長 内容については先生方の授業の進め方などの研修をおこなっております。小中学校8校の教諭数に応じて予算を配分しております。

▽図書館の電子図書について  
図書館では電子図書を考えているのか。

中野図書館長 電子図書の導入に250万円程度の費用がかかります。導入については、2年後くらいには考えていかなければならないと思います。



電子図書の導入はいつ

## 平成24年度の主な事業

3月定例会で、一般会計予算が昨年を下回る86億2600万円となりました。

このような現状の中で新たな事業が展開されますが、その事業の一部をとりあげます。

### 議会に中継システムを導入

浦河町議会は今年度、議会中継システムを導入し、今年中には稼動できるよう進めていくことになりました。

議会中継システムは、町議会の様子をインターネット上に流し、リアルタイムで町内に配信するものです。

定例議会を中心として、議会の審議の様子、議員の一般質問など議会の状況を瞬時に届けま



耐震診断がおこなわれる東部小学校

昭和48年に建設された鉄筋コンクリート造りの校舎です。今回の調査では、コンクリート強度試験・中性化試験・構造化による耐震計算による耐震の強度を図ります。

浦河第二中学校は今年度、耐震改修の実施設計がおこなわれます。

浦河町内小・中学校の耐震化関連事業が進みます。災害時の避難場所としても使用される小・中学校ですが、その建物の耐震対策が進んでいない状況が指摘されていました。

3・11東日本大震災を教訓として、国や道も予算を拡大し、小・中学校の耐震化へのとりくみが進められ、浦河町も24年度予算で2校へのとりくみがおこなわれます。

浦河東部小学校では耐震診断がおこなわれます。

今年度の新しい事業のひとつとして「漁業担い手支援事業」がおこなわれます。

この事業の目的は、漁業の振興と、漁業後継者を育成、漁業の振興と地域活性化につなげていくものです。

事業の内容は、新たに漁業を始めようとする新規就漁者に、日高中央漁業共同組合と連携し必要な支援をおこなうもので、町内に住所を有し、すでに漁業をしている人から支援を受けて新たに漁業に従事しようとする人に対し補助金を支給します。

原則として20日以上漁業に従事することで、月額8万円が2年間支給されます。

就漁準備にかかる費用の軽減のための補助金を一回3万円か

ら10万円の範囲で支給します。生活の安定を図るため、家賃の一部も補助されます。月額1万円以上の家賃の場合、家賃の2分の1を基本として、月額5千円から3万5千円まで2年間補助されます。

なお、詳細については、浦河町担い手新規就漁推進会議で決定する予定です。

### 浦河町内小・中学校の耐震化の調査

議員の発言内容、町長や職員の方針、議場内の様子など、家庭でも見ることができるようです。この中継システムの導入で一番重要なのは議会の役割、議会としての資質が問われることです。

全国、道内でもこのシステムを導入し、町内はもとより全国に発信しているところもあり、浦河町でも議会の状況を広く知ってもらい素直な意見も聞き、議会の役割がいつそう果たしていくけるようにしていく考えです。

日高管内では新ひだか町で中継システムが導入されています。

浦河町内小・中学校の耐震化関連事業が進みます。災害時の避難場所としても使用される小・中学校ですが、その建物の耐震対策が進んでいない状況が指摘されていました。

3・11東日本大震災を教訓として、国や道も予算を拡大し、小・中学校の耐震化へのとりくみが進められ、浦河町も24年度予算で2校へのとりくみがおこなわれます。

浦河東部小学校では耐震診断がおこなわれます。

### 漁業の担い手支援事業について



新しい担い手が期待される昆布浜